

令和 6 年度実績概要

1 令和6年度実績概要

令和6年度は、新型コロナウイルスの影響が残っていた令和5年と比較し、更に観光客数が回復に向かった1年となりました。

今後も観光客数とインバウンド消費の拡大が想定される一方で、一部の観光地では、多くの観光客が訪れることによる混雑やマナーの悪化など、市民生活へ影響が現れています。これは鎌倉市においても例外ではなく、市民生活と観光振興の両立は「第3期鎌倉市観光基本計画」の施策としても位置づけています。

令和6年度は、混雑等の課題解決のため、鎌倉の新たな魅力の発信や鎌倉観光混雑マップの公開のほか、観光公式ガイドコンテンツに多言語ページを作成するなど、時間、場所等の分散化に努めました。

引き続き「成熟した観光都市鎌倉」を目指すための取り組みを進めていきます。

目標Ⅰ「歴史、文化、自然、景観といった様々な遺産を保存・継承しつつ、知られざる鎌倉の魅力や価値を掘り起し、新たな観光資源として発展・向上させます。」

目標Ⅱ「成熟した観光都市としての鎌倉に市民が誇りや郷土愛を感じつつ、安心して穏やかに暮らせるまちをつくります。」

目標Ⅲ「誰もが安全で快適につつがなく鎌倉で学び楽しめるように、観光客を受け入れます。」

目標Ⅳ「観光の振興を地域の活性化につなげます。」

鎌倉の持つ様々な魅力や価値が世界に誇る貴重な財産であることを認識し、観光に携わるあらゆる主体が連携・協力して、誰もが「住んでよかった、訪れてよかった」と思える成熟した観光都市を目指します。

目標Ⅰ「歴史、文化、自然、景観といった様々な遺産を保存・継承しつつ、知られる鎌倉の魅力や価値を掘り起し、新たな観光資源として発展・向上させます。」

目標Ⅰは、鎌倉の持つ歴史的・文化的遺産や、美しい自然景観の保持に努めつつ、それらを観光資源として発展及び向上させることを目標としています。

令和6年度は、鎌倉花火大会が5年ぶりに実施となりました。鎌倉まつりは「行列巡行」、「静の舞」、「野点席」を実施、鎌倉薪能も昨年度同様に有観客で開催されました。

日本遺産事業として、外国人観光客への発信に向け、マップや日本遺産特設サイト等の過去に作成した媒体の多言語化を行い、国内外に向けて魅力発信を図りました。さらに、市内の構成文化財において、日本遺産案内板の整備を行い、来訪者への日本遺産周知に努めました。

また、日本遺産を通じた分散化及び地域産業の振興に向け、鎌倉を舞台としたTVアニメ「逃げ上手の若君」とコラボしたデジタルスタンプラリー『いざ鎌倉！「逃げ上手の若君」街歩き』を実施し、日本遺産フェスティバル in 極上の会津では伝統鎌倉彫事業協同組合、京都市で行われた日本遺産マルシェでは鎌倉ビール醸造株式会社の協力により物販を行いました。



名越切通の日本遺産案内板



京都市で行われた日本遺産マルシェ

目標Ⅱ「成熟した観光都市としての鎌倉に市民が誇りや郷土愛を感じつつ、安心して穏やかに暮らせるまちをつくります。」

目標Ⅱは、市民生活と観光振興の両立を図り、市民の観光に対する理解を向上させることで、成熟した観光都市鎌倉をつくりあげることが目標としています。

誰でも安全・安心、快適に過ごせる海水浴場の開設のため、来訪者の安全対策としてライフセーバーによる海岸監視、風紀維持のための警備員によるパトロール等を行い、海の日には津波避難訓練も実施しました。

令和5年度からは、海水浴場においてソフトボードなどの遊具が使用できるエリアを設置するとともに、利便性向上と周辺の安全確保のため、3海水浴場内に自転車等駐車場を設置しました。令和6年度は更なる安全対策として、遊泳地区にフロートを設置し、由比ガ浜海水浴場に監視塔を新設しました。



由比ガ浜海水浴場



ソフトボードエリア

目標Ⅲ「誰もが安全で快適につつがなく鎌倉で学び楽しめるように、観光客を受け入れます。」

目標Ⅲは、観光の形態や属性に関わらず、観光客の誰もが鎌倉の観光に対して高い満足感を抱き、安全で快適な環境のもと鎌倉の魅力や価値を学び楽しむことができることを目標としています。

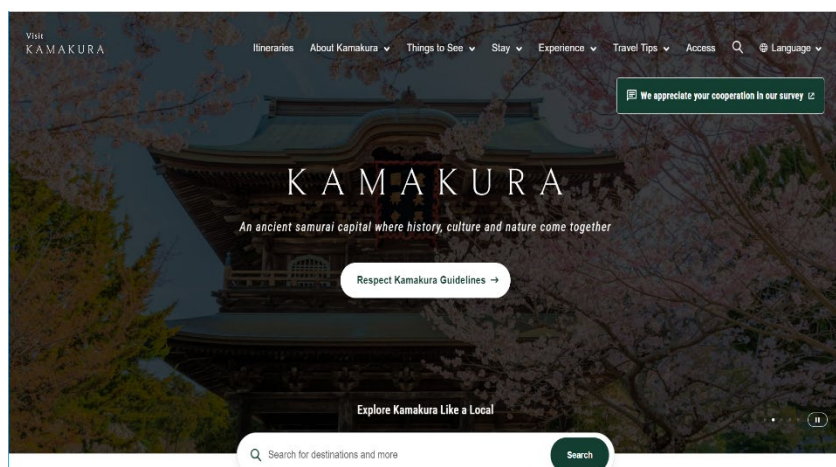
令和元年の台風の影響で大きな被害を受け通行止めとしていた祇園山ハイキングコースの復旧等が完了し、令和5年4月1日から通行を再開したことにより、

鎌倉市が紹介している葛原が岡・大仏、天園、祇園山の3つのハイキングコースは全コース開通しています。また、公益財団法人鎌倉風致保存会との協働事業として実施しているハイキングコースパトロール事業によりハイキングコース内の情報収集等を行っています。

令和6年度には観光客への案内充実を図るため、観光公式ガイドコンテンツ内に多言語・教育旅行・防災の3サイトを新設しました。



祇園山ハイキングコース



VISITKAMAKURA（多言語サイト）

目標Ⅳ「観光の振興を地域の活性化につなげます。」

目標Ⅳは、観光の振興や観光産業に携わっている民間事業者や関係団体が、その活動にやりがいを感じ活躍することができる地域社会の生成を目標としており、「歩く観光」「泊まる観光」を推進することでより多角的な観光消費の拡大を目指しています。

歩く観光の推進を目指し作成している「ぶらり鎌倉マップ」については、これまで「長谷、由比ヶ浜」、「二階堂、浄明寺」、「北鎌倉、常盤、梶原」、「大船、玉縄」の4種類を配布していましたが、令和6年度は「大町、材木座」を新たに作成し、計5種類を配布しました。

また、鎌倉の海の素晴らしさを再認識し、鎌倉の新たな魅力を発信することにより、観光振興、地域活性化に繋げる事業として「鎌倉ビーチフェスタ」が開催されました。



ぶらり鎌倉マップ（大町、材木座）



鎌倉ビーチフェスタ